

新年のご挨拶

2023年 謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は皆様方に大変お世話になり誠にありがとうございました。

本年も変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本連盟は今年で創立45年目を迎えますが、これも一重に皆様方のご理解とご協力のお陰と深く感謝しております。これまで連盟に携わって頂きました関係者並びにOBの皆様を重ねて厚く御礼申し上げます。

昨年度の連盟の活動では、主催大会(春高中ゴルフ・緑の甲子園・マッチプレー)をはじめとする大会はコロナ感染対策を徹底して行い、無事に開催することが出来ました。しかしながら海外派遣大会はコロナ禍の影響が続き残念ながら中止となってしまいました。また、国内のプロトーナメントへの推薦派遣では代表選手が大いに活躍してくれたのは記憶に新しいところでございます。

一方ゴルフ界においては、コロナ禍で若者を中心にゴルフ人気が高まり、競技人口が増えるという業界にとっては追い風の傾向が見られました。しかしその影響で、ジュニアゴルファーの活動環境が悪くなるという皮肉な状況が起こっております。「ジュニアゴルファーが将来のゴルフ界を背負っている。」ことをご理解いただき、是非ともご協力を頂きたいと存じます。

本連盟は44年間『緑の甲子園』の「団体戦」を最重要視して参りました。本来は個人スポーツであるゴルフを学校対抗とすることにより、個人戦にはない「フォア・ザ・チームの精神」を育むことにより教育的意義を高めたいと考えたからです。本年は原点に戻り、今一度団体戦の重要性について考えて参る所存でございます。

個人戦においては66回の歴史を振り返りますと、男女数々の有名プロゴルファーの名前が成績に刻まれており、いかにこの大会がゴルフ界に大きな影響を与えて来たかを垣間見ることが出来ます。今後、この大会の歴史や意義をゴルフ界のみならず多くの方々に伝えていく必要があると考えております。

本連盟はこれからも、「ゴルフを通して皆様に愛され信頼される人材」を育ててまいる所存でございます。本年も引き続き、ご理解とご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人

日本高等学校・中学校ゴルフ連盟

ジュニアゴルフクラブチーム連盟

理事長 井上尚彦